

③キリンガイド (18:15~18:30)

キリンがエサを食べる様子をご覧いただきながら、飼育スタッフがキリンの生態などについて解説します。

④バックヤードツアー (19:00~19:30)

※当日 9:00~17:00 北ゲートで整理券配布
(先着 40 名/定員になり次第配布終了)
普段は見ることのできない動物の寝室を、飼育スタッフが解説をしながら案内する人気のツアー。 ※8月28日は実施いたしません

⑤ムササビの森ガイド (19:45~20:00)

夜行性のムササビの様子を、飼育スタッフの解説を聞きながら観察。滑空が見られるかもしれません！

⑥「到津の森調査隊～夜の森探検！！～」(19:30~20:40)

8/6(土)・7(日)・13(土)・14(日)のみ実施

※事前募集にて参加者決定済み

懐中電灯をもって夜の森に行き、生き物を探します。

捕まえた生き物は、図鑑などで調べます。

☆森のおはなし探検隊☆

『夏のたからもの探し』

近くの野原や森で、自分ならではの夏をみつけます。

『到津であった戦争のおはなし』

を行います。

●開催日時：8月14日(日) 13:00~

●開催場所：子どもホール

●参加費：無料(別途要入園料)・事前申込不要

天候などの都合により変更・中止することがあります。どうぞご了承下さい。
詳しくは、HP もしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問い合わせ下さい。

森の仲間たち



いとうづ
到津の森公園
zoo

「到津の森公園」公園事務所
北九州市小倉北区上到津 4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.itozu-zoo.jp/>

森の便利 8月号 2016年

発行・編集「到津の森公園」「森の仲間たち」16年8月1日発行 通巻162号

到津の森公園

ITOZU YORU ZOO

～夜の動物園～

この夏も、「ITOZU YORU ZOO ～夜の動物園～」を開催します。夜のジャングルを思わせる、幻想的にライトアップされた木々の間。暗闇に浮かび上がる動物たちの姿を、静かにのぞいてみてください。

- 開催日 8月の金曜日・土曜日・日曜日・祝日、8月15日(月)
- 営業時間 9:00 ~ 21:00 (通常は17:00閉園)
- 入園料 通常の入園料金
(大人800円、中高生400円、4歳~小学生100円)
※夜間料金はありません。

開園時間中は、入園時刻にかかわらず同一料金です。

夜だけの特別イベント

①ふれあい動物園スポットガイド (17:00~ 15分程度)
ヤギ、ロバなど、ふれあい動物園でくらす動物たちのガイドを日替わりで行います。

②マダガスカル森におじゃまします (17:00~18:00)
キツネザルの運動場に入って、間近でサルたちを観察することができます。

八月、暑いのはあたり前。とはいえ、心構えだけでは乗り切れそうにありません。そこで心身ともに活力補給の為、夏休みの一日を涼しい部屋での読書三昧で過ごしませんか。

というわけで、次々発表されるベストセラーが多い中ですが、旧著のこの作品をご紹介します。今更ながら桜庭一樹著「赤朽葉家の伝説」の『鳥取の旧家に生きる三代の女達、そして彼女達を取り巻く製鉄一族の姿を描きあげた渾身の雄編』というキャッチコピーはまさにその通り。どうしても一気に最後まで読まなくては治まらなくなる為、一日の休日が必要になってくる作品と思えます。

主人公「万葉」は辺境の人(サンカ)の捨て子だった。製鉄一族の旧家「赤朽葉家」が見下ろす町の職工夫婦に育てられ、本人も気付かぬまま、いつの間にか千里眼を身に着けた少女となっていた。そして、見上げた事もない別世界の赤朽葉家の嫁にと望まれ、坂道を登ってゆく。その娘「毛毬」、そして三代目で物語の語り部「瞳子」と、戦後の高度経済成長に迷いなく邁進し、エネルギー革命を経て、バブルがはじけた日本の姿がたくみに描かれてゆく。

「万葉」「毛毬」という強く個性的な名に比べて 21 世紀に青春を迎える少女は、何の変哲もない「瞳子」と名付けられてしまう。

北九州、特に八幡の住人であれば赤朽葉家のある紅緑村の姿が、まさに企業城下町の雰囲気と皮膚感覚で理解できてしまう。あっ！これは〇〇町！と見える場面も多い。

大河小説の力強さの中に、神話のような不思議さたよう小説。切なさや内に秘めた登場人物たちの魅力。瞳子の時代は“ひらぺったい”印象となってしまうが、リーマンショックから以後を描くとしたら、作者はどんな物語を表すのか。

「到津の森公園」の子供ホールは冷房完備、静かで清潔。時折、森の緑や動物達を見て、休み休み読書の一日をお勧めします。

◎赤朽葉家の伝説は第 60 回日本推理作家協会賞を受賞。

2014 年映画化され話題となった著者作の「私の男」は第 138 回直木賞を受賞している。

文：花咲くおばさん

花 暦 葉 月

森のなかま・クワガタ

いろいろいるよ

夏と言えばカブトムシ！！・・・は昨年行ったので、今年はクワガタです。

日本にいるカブトムシは 1 種類と思われがち（実際は北九州にも 2 種）ですが、クワガタはいろいろな種類がいることが認識されていると思います。外国産のクワガタも、大きくて格好よかったり、綺麗だったりといろいろですが、日本のクワガタだって魅力的な種類がたくさんいます。

今回は、そんな日本のクワガタたちにスポットを当てて、「プチ・にほんのクワガタムシ展」を里のいきもの館でおこなっています。種ごとの違いだけではなく、種の中での違い（亜種）なども探してもらいたいと思っています。また、飼うときのルールなども紹介しています。

今回は、北九州で見ることができる種類だけではなく、南の島に行かなければ見ることができない種類もありますよ。

昔と違ってカブトムシやクワガタも簡単に見ることができないところも増えています。実際に野外に出て自然と触れ合うきっかけになってくれるといいなと思います。



飼育展示係 福井 智太